

① 広報のまちづくり



4月号
No. 102

全道初の 生活者会議開く

町民すべての英知を結集し、わたくしたちの「明日をつくる生活態度」の方向づけをしようとして、三月二十二日午後九時三十分より、中央公民館で全道初の生活者会議が開かれました。

この日は、高田町長、柳沼教育長、胆振支庁長、室蘭開発建設部長、室蘭保健所長、登別商工会長を囲んで、町内会長、婦人会など約二五〇人が参集し、開会に先立ち、生活学校連絡協議会長藤江みどりさんが、明るく住みよい町にするための意見と、参加者の英知を集めて郷土の町づくりを、前進させようといさづがありました。

十時より「明日の生活態度をつくるために」をテーマに、パネル討議にはいり、各地区から出された問題を取りあげ、出席した行政機関との間で、活発な討議がなされました。

このあと、インタービュー討議に移り、町づくりに関連した日ごろの問題点をあげ、熱心に話し合いが行われました。

主な討議の内容
 ◎ 青少年の健全育成について
 ◎ 加工食品および、薬の製造月日を明記する指導

◎ 添加物の保存期限
 ◎ 新生活の結婚式のありかた
 など、約五十項目にわたる多彩な問題がだされ、出席した各行政機関より辛直な回答がなされました。

町の人口 (三月末現在)

男 二一、五九七人 (二七八増)
 女 二一、〇二一人 (二五八増)
 計 四二、六一八人 (三三六増)
 世帯数 二、一六七世帯 (六五増)

本年度の予算きまる

第一回定例議会

第一回定例議会は、昭和四十三年度予算などを審議するため、三月十一日より十九日までの九日間にわたって開かれました。

十一日は、町長の町政執行方針と昭和四十三年度各会計予算など議案に対する説明がおこなわれました。

十二、十三日は休会、十四、十五、十六日は、町政に対する一般質問と全員委員会を開いて、昭和四十三年度予算を審議、十七日は休会、十八、十九日は、全員委員会と本会議を開いて、昭和四十三年度予算と提出議案を審議し、一部理事者に一任したほか、いずれも原案どおり可決されました。

審議された主なものは次のとおりです。

四十一年度決算を認定
 四十一年度各会計の決算審査を総務委員会に附託しており、議会で認定されました。

四十二年の各会計
 予算
 一般会計九億六千七百二十二万一千円、特別会計三億九千九百五十四万円で、総額十三億六千六百七十六万一千円が、原案のとおり決定しました。その内容は次頁でくわしくお知らせします。

◎登別町税条例(国民健康保険税の税率)
 所得割、百分・二百二十が百分

また、し尿汲取手数料は、十八リットル以上三十六リットル未満につき四十円、「十八リットル未満は切捨」となりました。

老人福祉会館条例
 老人の心身の健康と福祉増進を図るため、字来馬二百六十八の九旧カトリック観心聖心幼稚園を無償借用して、老人福祉会館を設置し名称を静和園と名づけました。

公民館条例
 警別にある公民館の使用料金が次のとおりとなりました。

町長部局の職員二百五十二名、教育委員会の職員五十九名、水道会計の職員三十名となりました。

清掃条例
 汚物の範囲を、ごみ、燃えがら、汚でい、し尿、犬、ねこ、ねずみなどとし、塵芥手数料の算出方法——一般世帯以外の世帯および事務所等については、今まで入頭割、業種別割であったが、四月一日より従量制とし、四十リットルにつき二十円(りんご箱または標準ポリバケツ四十五リットル以下も二十円)となりました。

手数料の納期——今まで四期制でしたが、四十三年度より二期制となり第一期納期限六月二十日(四月・九月)、第二期納期限十二月二十日(十月・三月)となりました。

塵芥手数料の納入方法——証紙(一枚二十円)は役場衛生課、各支所、ひまわり園、商工会において販賣し、収集の際、乗務員に渡すことになりました。なお、消印されたり、汚染し、き損した証紙は無効となります。

また、し尿汲取手数料は、十八リットル以上三十六リットル未満につき四十円、「十八リットル未満は切捨」となりました。

老人福祉会館条例
 老人の心身の健康と福祉増進を図るため、字来馬二百六十八の九旧カトリック観心聖心幼稚園を無償借用して、老人福祉会館を設置し名称を静和園と名づけました。

公民館条例
 警別にある公民館の使用料金が次のとおりとなりました。

また、し尿汲取手数料は、十八リットル以上三十六リットル未満につき四十円、「十八リットル未満は切捨」となりました。

老人福祉会館条例
 老人の心身の健康と福祉増進を図るため、字来馬二百六十八の九旧カトリック観心聖心幼稚園を無償借用して、老人福祉会館を設置し名称を静和園と名づけました。

公民館条例
 警別にある公民館の使用料金が次のとおりとなりました。

機構の充実に伴う人事異動は、去る四月一日おこなわれました。

係の名称変更では、税務課の賦課係を税務係、徴収係を収納係、都市計画課の事業係を区画整理係にしたほか、係の新設では、税務課に資産税係、衛生課に清掃係、管理課に総務係、建設課に失業対策係、産業課に土地改良係の五係を増設して、いままでの二十六係を三十一係としました。

総務部
 税務課税務係長 玉手信行(賦課係長)
 資産税係長 篠田昭二(徴収係)
 収納係長 千葉 勲(用地係)
 衛生部
 衛生課衛生係長 佐々木功(衛生係)
 清掃係長

時間区分	室面積区分	
	九時—十一時	十一時—一時
講堂	九〇〇	三〇〇
第一課	一〇〇	二〇〇
第二課	一〇〇	二〇〇
第三課	一〇〇	二〇〇
第四課	一〇〇	二〇〇
第五課	一〇〇	二〇〇
第六課	一〇〇	二〇〇
第七課	一〇〇	二〇〇
第八課	一〇〇	二〇〇
第九課	一〇〇	二〇〇
第十課	一〇〇	二〇〇
第十一課	一〇〇	二〇〇
第十二課	一〇〇	二〇〇
第十三課	一〇〇	二〇〇
第十四課	一〇〇	二〇〇
第十五課	一〇〇	二〇〇
第十六課	一〇〇	二〇〇
第十七課	一〇〇	二〇〇
第十八課	一〇〇	二〇〇
第十九課	一〇〇	二〇〇
第二十課	一〇〇	二〇〇
第二十一課	一〇〇	二〇〇
第二十二課	一〇〇	二〇〇
第二十三課	一〇〇	二〇〇
第二十四課	一〇〇	二〇〇
第二十五課	一〇〇	二〇〇
第二十六課	一〇〇	二〇〇
第二十七課	一〇〇	二〇〇
第二十八課	一〇〇	二〇〇
第二十九課	一〇〇	二〇〇
第三十課	一〇〇	二〇〇
第三十一課	一〇〇	二〇〇
第三十二課	一〇〇	二〇〇
第三十三課	一〇〇	二〇〇
第三十四課	一〇〇	二〇〇
第三十五課	一〇〇	二〇〇
第三十六課	一〇〇	二〇〇
第三十七課	一〇〇	二〇〇
第三十八課	一〇〇	二〇〇
第三十九課	一〇〇	二〇〇
第四十課	一〇〇	二〇〇
第四十一課	一〇〇	二〇〇
第四十二課	一〇〇	二〇〇
第四十三課	一〇〇	二〇〇
第四十四課	一〇〇	二〇〇
第四十五課	一〇〇	二〇〇
第四十六課	一〇〇	二〇〇
第四十七課	一〇〇	二〇〇
第四十八課	一〇〇	二〇〇
第四十九課	一〇〇	二〇〇
第五十課	一〇〇	二〇〇

資産税係など 五係を新設

久保光国(衛生係長)

開発部
 管理課総務係長 工藤英二(管理係長)
 管理係長 中野文雄(用地係)
 建設課土木係長 鈴木博美(土木係)
 失業対策係長 緑 重雄(用地係)
 都市計画課区画整理係長 江州栄三(事業係長)
 産業課土地改良係長 政田正雄(農林係)

教育委員会
 総務係長 青山薫(学校教育係長)
 学校教育係長 長沼進(観光会館副支配人)
 国民宿舎 オロフレ荘支配人 亀岡昭一(大滝村役場)

四十二年各会計補正予算
 一般会計は、一千二百六十六万一千円を追加し、予算総額九億九千八百八十九万四千円を減額し、予算総額三億八千八百八十二万一千円、国民健康保険特別会計は、七万二千円を減額し、予算総額六千七百二十二万六千四百五十円を追加し、一億四百三十六万四千円、学校給食事業特別会計は、百七十九万二千円を減額し、予算総額五千三百二十二万二千円、水道事業会計は、(収入)三百二十六万を追加し、予算総額七千六百四十万二千円、(支出)百七十二万七千円を追加し、予算総額八千九百三十八万五千円となりました。

驚別消防分遣所完成

昨年十月より、驚別支所横に建設していた消防分遣所は、このたび完成し、四月一日より移転しました。

この消防分遣所は、総工費一千五百五十万円をかけ、一階には、通信室、仮眠室、車庫、器材庫など、また、二階には、事務室、会議室が間取りされています。

なお、電話番号は、従前通り(驚別)七、三三九番です。



新設した驚別消防分遣所

開町百年記念事業の推進と 社会生活基盤の向上につくす

町長の町政執行方針



て、住民福祉の充実に最善の努力をつくして参りましたが、昭和四十三年においてもこの方針を基調として、次の重点施策をもって町政を執行する所存であります。

は、現行どおりの計上に止めた。特定財源については、確実に取

開町百年記念事業の推進

重点施策とは、

一、開町百年記念事業の推進

一、社会生活基盤の向上

一、経済基盤の確立

一、青少年会館の建設

一、図書館建設

一、青少年会館の建設

一、図書館建設

一、青少年会館の建設

一、図書館建設

一、青少年会館の建設

一、図書館建設

一、青少年会館の建設

一、図書館建設

一、青少年会館の建設

一、図書館建設

一、青少年会館の建設

一、図書館建設

開町百年を迎え、記念事業を積極的に推進するため、

○青少年会館の建設（米馬地区に建設し、スポーツ、研修、集会等の施設として利用）

○図書館建設基金の積立（文化水準を向上させるため、三ヶ年計画で基金を積立、青少年会館に併設）

○生活館の建設（社会福祉、文化福祉、および集会所として富浦地区に建設）

入が予想されるものを、国の地方財政計画あるいは、国、道の予算案を充分検討の上、計上した。

○第一の重点施策として

○幌別陸上競技場を第二種公認グラウンドとして整備、川上スキー場の建設、日胆地区陸上競技大会の誘致、町内小、中学生スポーツ大会の開催（スポーツによって若人の清新に満ちた躍動の機会を数多く与え、記念事業の意義を高める）

等、町民がこぞって利用し、参加できるように予算化を図った。

第二の重点施策として

○福祉行政

老人福祉センターを幌別地区に設置。また、福祉施設整備対策として、防犯灯設置助成金、児童遊園地設置助成金と富浦共同作業所を建設するとともに、町内会の助成金を増額して、町内会活動の活性化を図った。

○住宅対策

第一種十二戸、第二種二十戸の公営住宅を建設し、住宅難の緩和を図った。

○消防施策

登別温泉消防出張所建設、消防ポンプと指令車購入、消火栓の新設等、消防対策を強化した。

○教育施策

学校水泳プールの新設と、各小中学校の増改築をおこなう。

また、PTA会費の公費負担を完全解消するため、前年度の五割増額した。

第三の重点施策として

区画街路の整備と児童公園の造成を逐次実施していく。

○交通安全対策
町民を交通事故から守るため、積極的施策を進め、これまで各費目に分散計上していたものを「交通安全対策費」として一本化し、交通安全の充実に努めたほか、新発足した交通傷害保険制度の加入促進の徹底など、真剣に対処していく。

○福祉行政
老人福祉センターを幌別地区に設置。また、福祉施設整備対策として、防犯灯設置助成金、児童遊園地設置助成金と富浦共同作業所を建設するとともに、町内会の助成金を増額して、町内会活動の活性化を図った。

○住宅対策
第一種十二戸、第二種二十戸の公営住宅を建設し、住宅難の緩和を図った。

○消防施策
登別温泉消防出張所建設、消防ポンプと指令車購入、消火栓の新設等、消防対策を強化した。

○教育施策
学校水泳プールの新設と、各小中学校の増改築をおこなう。

また、PTA会費の公費負担を完全解消するため、前年度の五割増額した。

第三の重点施策として

農業開発を促進させ、とくに川上、富岸、上檜別地域の発展に努力する。また、札内地区開墾建設農免農道新設、土壌浸蝕防止事業

の確立

の確立

の確立

予算編成の概要

予算編成の基本としては

一、国の財政硬直化、景気の先行不安等を充分考慮し、地方財政計画にもとずく起債等総合的判断のもとに健全財政を主眼として編成をおこなった。

二、国の方針に準じて、年度途中での財源確保が困難な事態とならないよう、職員の給与改訂、特別会計繰入金その他補正要因として予想される経費を、当初予算に組み入れ「総合予算主義」とした。

三、外部団体等に対する負担金、

交付金等は、極力削減をおこなった。

四、消費的経費については、職員全体の経費觀念の浸透と創意工夫を図り、事務合理化によって可能な限り、前年度と同様削減を図った。

五、才入のうち町税については、住民の負担過重とならぬよう、国保税を除き現行税率をもって計上した。また各種の使用料、手数料についても廃并手数料を一部従量制として制度の改善を図った以外

住民一人一人が恵まれた環境のもとに、豊かで希望に満ちた生活ができることを指向するすぐれた町づくりの完成こそ、地方自治に課せられた使命と責務であります。この根本理念から「生活基盤の整備」を図るため

道路橋梁、排水施設等の整備
町民の生活上、緊急を欠くことのできない施策で、八〇〇万円については、総額約一、四〇〇万円の予算を計上した。また、町道維持管理は、失業対策事業の一環として、ブルトーザーの購入で、グ

社会生活基盤の向上

入が予想されるものを、国の地方財政計画あるいは、国、道の予算案を充分検討の上、計上した。

○第一の重点施策として

○幌別陸上競技場を第二種公認グラウンドとして整備、川上スキー場の建設、日胆地区陸上競技大会の誘致、町内小、中学生スポーツ大会の開催（スポーツによって若人の清新に満ちた躍動の機会を数多く与え、記念事業の意義を高める）

等、町民がこぞって利用し、参加できるように予算化を図った。

第二の重点施策として

○福祉行政

老人福祉センターを幌別地区に設置。また、福祉施設整備対策として、防犯灯設置助成金、児童遊園地設置助成金と富浦共同作業所を建設するとともに、町内会の助成金を増額して、町内会活動の活性化を図った。

○住宅対策

第一種十二戸、第二種二十戸の公営住宅を建設し、住宅難の緩和を図った。

○消防施策

登別温泉消防出張所建設、消防ポンプと指令車購入、消火栓の新設等、消防対策を強化した。

広報のりべつ

前頁より
をおこなって、農業基盤の確立と
奥地開発を進めてゆく。
◆中小企業の育成対策
資金事情に悩む中小商工業者の
健全融資の道を開くため、信用保
証協会貸付金、中小企業特別融資
積立金を増額した。

◆観光施策
魅力ある観光地、活気に満ちた
観光地として、観光開発に最善の
努力を払うとともに、各種助成金
も例年通り計上した。また、期待
される幌別ダム周辺と川股温泉の
開発にも積極的に推進する。

つぎに、道の直轄事業として
施行決定している事業では、道営
事業費—幌別川改修工事など約四
億円、国営事業費—富浦地区国道
代替工事など約二億五千万円、計
六億五千万円が投入され、これら
工事を早期完成したい。

むすび
以上、四十三年度の、町政執行方
針と予算の大綱について述べまし
たが、とくに本年は、開基百年と
いう記念すべき年を迎え、偉大な
る幾多先人から享受した伝統ある
この郷土が、一世紀にいたる風雪
を乗り越え、克服した労苦と開町
二世紀への将来に思いをよせると
き、豊かな登別町の建設に邁進す
ることが、私に課せられた歴史的
な責務であると決意をいたしました
。この記念すべき年を契機として
、四万三千町民の信託にこたえ、
明るく豊かな郷土の建設を究極の
目標として、明日への希望と期待
のもてる登別町を展げるために努力
する覚悟であります。

ことしの予算の内容

総額十三億六六、七六一千円

ことしの各会計の予算額を昨年
と比較してみると、別表のようにな
ります。
これによると一般会計の予算総
額は、昨年より四億五一、九二七
千円、特別会計は、五つの会計を
合せて七一、〇七〇千円それぞれ
増額になっております。
つぎに一般会計について、本年
度の主な事業をとりあげてみると
つぎのとおりです。

- 職員共済組合住宅建設 三、二〇二千円
- 総合開発計画策定 一、六〇〇千円
- 民生費 七三〇千円
 - 社会福祉協議会交付金
 - 町内会振興助成金
 - 富浦生活館建設五、五五三千元
 - 富浦共同作業場建設 二、六九七千元
 - 登別青少年会館建設 二、〇〇〇五千元
 - 通学路歩道新設四、二〇四千元
 - 富岸東線線および鶯別学田路線 八、四四〇千元

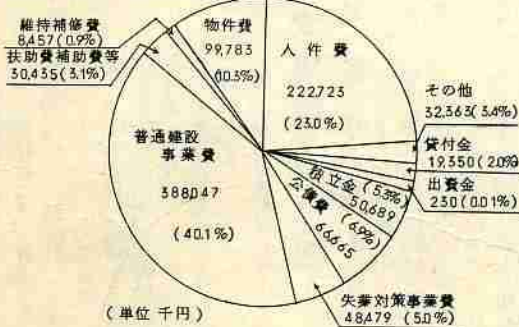
- 踏切披巾舗装事業五、一一二千元
- 上鶯別橋歩道橋新設九七〇千元
- 町民交通傷害保険 一、五八四千元
- 衛生費 一、五三七千元
 - 胆振七カ町村、結核予防組合負担金
 - 失業対策事業四八、四七九千元
 - 勤労者特別融資積立金 一〇、〇〇〇千元
 - 農林水産業費 三一、一三九千元
 - 富岸地区団体営排水事業
 - 札内地区開墾建設附帯事業 三〇、〇〇〇千元
 - 一般農道新設三一、三八一千元
 - 農免農道新設および札内地区道
 - 富土壌侵蝕防止事業負担金
 - 失業者対策事業費 四、八四七元 (5.0%)
 - 貸付金 12,550 (2.0%)
 - 出資金 250 (0.1%)
 - 公債費 6,665 (5.3%)
 - 積立金 5,089 (5.3%)
 - 物件費 99,783 (0.3%)
 - 人件費 222,725 (2.3%)
 - その他 32,563 (3.4%)
 - 普通建設事業費 3,880,47 (40.1%)
 - 維持補修費 8,457 (0.9%)
 - 扶助費補助費等 50,455 (3.1%)

- 商工費 七〇〇千元
 - 商工会助成金
 - 商工会館建設費補助 一、五〇〇千元
 - 中小企業特別融資積立金 三二、〇〇〇千元
 - 観光協会事業 特殊観光団歓迎 および地獄まつり助成金 三、五〇〇千元
 - 観光休憩所建設二、〇〇〇千元
 - カルルス人道橋建設 二、四〇〇千元
- 土木費 四、六七〇千元
 - ブルト—ザ—購入
 - 登別温泉通学道路舗装 三、〇〇〇千元
 - 都市計画区域街路舗装 五、〇〇〇千元
 - 土地利用調査 一、〇七〇千元
 - 上鶯別地区土地区画整理事業 五〇〇千元
 - 中央通り舗装 九、九一五千元
 - 中央公園、常盤公園、富士公園 および汐見公園新設 六、一四〇千元
 - 公営住宅建設二四、七三〇千元
 - 防災施設整備五〇、〇〇〇千元
 - 消防費 一、二〇〇千元
 - 消防本部指令車購入
 - 消防ポンプ自動車購入 六、五〇〇千元
 - 登別温泉消防出張所建設 二九、六〇八千元
 - 教育費 八、〇〇〇千元
 - 登別大谷高等学校校舎建設資金 貸付金 三、三五〇千元
 - 私学振興基金協会貸付金 次頁へつづく

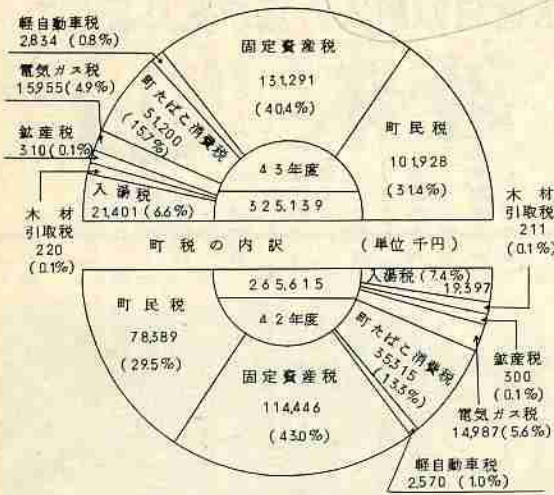
昭和43年度 各会計歳出入予算額 (単位千円)

会計別	本年度予算	前年度予算(当初)	増減	
一般会計	一般会費	16,506	15,523	1,183
	民生費	151,158	122,562	28,796
	衛生費	880,555	3,5680	54,353
	労働費	27,453	11,700	15,753
	農林水産業費	58,786	49,911	8,875
	土木費	119,384	18,740	100,644
	消防費	5,726	3,890	1,836
	教育費	14,453	6,457	7,996
	災害復旧費	74,970	30,489	44,481
	借入金返済	14,644	6,655	7,989
	公債費	15,215	7,507	7,708
	積立金	6,665	5,485	1,180
	出資金	1,000	300	700
	計	967,221	515,294	451,927
特別会計	清掃事業	30,057	24,876	5,181
	国民健康保険	82,937	61,802	21,135
	観光事業	139,539	109,223	29,616
	学校給食事業	5,591	5,292	1,029
水道事業	9,301	7,890	1,410	
計	398,540	328,470	71,070	
合計	1,365,761	843,764	522,997	

昭和43年度 一般会計歳出入性質別内訳



- 商工費 七〇〇千元
- 土木費 四、六七〇千元
- 教育費 八、〇〇〇千元
- 消防費 一、二〇〇千元
- 衛生費 一、五三七千元
- 労働費 七三〇千元
- 民生費 七三〇千元
- 社会福祉協議会交付金
- 町内会振興助成金
- 富浦生活館建設五、五五三千元
- 富浦共同作業場建設 二、六九七千元
- 登別青少年会館建設 二、〇〇〇五千元
- 通学路歩道新設四、二〇四千元
- 富岸東線線および鶯別学田路線 八、四四〇千元
- 踏切披巾舗装事業五、一一二千元
- 上鶯別橋歩道橋新設九七〇千元
- 町民交通傷害保険 一、五八四千元
- 胆振七カ町村、結核予防組合負担金
- 失業対策事業四八、四七九千元
- 勤労者特別融資積立金 一〇、〇〇〇千元
- 農林水産業費 三一、一三九千元
- 富岸地区団体営排水事業
- 札内地区開墾建設附帯事業 三〇、〇〇〇千元
- 一般農道新設三一、三八一千元
- 農免農道新設および札内地区道
- 富土壌侵蝕防止事業負担金
- 失業者対策事業費 四、八四七元 (5.0%)
- 貸付金 12,550 (2.0%)
- 出資金 250 (0.1%)
- 公債費 6,665 (5.3%)
- 積立金 5,089 (5.3%)
- 物件費 99,783 (0.3%)
- 人件費 222,725 (2.3%)
- その他 32,563 (3.4%)
- 普通建設事業費 3,880,47 (40.1%)
- 維持補修費 8,457 (0.9%)
- 扶助費補助費等 50,455 (3.1%)



昭和43年度 一般会計歳入予算

科 目	本年歳予算	前年度予算(当)	増 減
町 税	3,251,139	2,656,115	595,024
国市町村施設交付金	66	66	0
国市町村施設交付金	350	200	150
地方交付金	1,650,000	1,000,000	650,000
地方交付金	3,113,7	2,590	2,854,7
地方交付金	16,659	13,584	3,275
地方交付金	102,227	40,906	61,321
地方交付金	7,585,1	15,642	60,209
地方交付金	49,487	5,610	43,877
地方交付金	1,500	2,500	△ 800
地方交付金	9,000	100	8,900
地方交付金	8,180,5	55,481	2,632,4
地方交付金	10,900,0	13,400	95,600
合 計	9,672,21	5,152,94	4,519,27

- ① 一家そっくり外出するときは、内錠とし、外部から見えない落とし錠にする。
 - ② 数日間留守にするときは、隣近所に頼んで、カーテンをだけはずし、電灯の点灯、消灯を確実にし、
 - ③ 窓ぎわに盗まれるようなものは置かないようにする。
 - ④ 家のまわりには、足場に利用されやすい空箱等は、ふだんから始末しておくこと
- もし盗難にかかったら
あらかじめ予金通帳などの番号は控えておくと共に、印鑑と通帳は別々に保管しましょう。
- もし盗難にあつたら、現場をそのままにしておき、すぐ警察「一一〇番」に連絡してください。
- 「一一〇番」への連絡のしかた
- ① 事件の内容は簡単に
 - ② 住所とあなたの家に行く目標を
 - ③ 被害の状況、犯人の人数、着衣逃走方向などを的確に伝えること

◎災害復旧費

- 岡志別川河川災害復旧事業 一五、二一五千元
- 幌別地区緑ヶ丘ランド造成 五〇〇千元
- 川上スキー場新設 六一〇千元
- 幌別陸上競技場造成 二、七四五千元
- 登別町育英会寄附金 一、三〇〇千元
- 登別小学校増築 二五、九〇六千元
- 各小中学校改修六、二六五千元
- 鷺別中学校増築 一五、六九五千元
- 登別中学校水泳プール建設 五、〇〇〇千元
- 図書館建設基金積立 三、〇〇〇千元
- 登別町体育協会助成金 五〇〇千元

あなたの家はねらわれている — ドロボーの予防法 —

外出の機会が多くなる花見シーズンには思わぬ災難に合うことがあります。

昨年、室蘭警察署管内で発生したドロボウの件数は、二千七百四十三件となっています。このうち家庭や会社などにもぐり込む侵入盗は、八百十五件で、大半が戸締まりのなかつたものや施錠忘れなど、不注意によってドロボウにねらわれたものです。

- 外出するときは、カギを必ずかけると同時に、隣組同士で警戒し合うこともドロボウの撃退の一つです。
- 室蘭警察署では、四・五月の盗犯を防止するためパトロールを強化しますが、各家庭でも、ドロボウを防ぐため、次のことを心がけてください。
- 留守であることがわからないように
- ① 一家そっくり外出するときは、内錠とし、外部から見えない落とし錠にする。
 - ② 数日間留守にするときは、隣近所に頼んで、カーテンをだけはずし、電灯の点灯、消灯を確実にし、

被害にあつたら必ず届けよう

- でもらうようにする。
- ③ 手紙や新聞は、戸のすき間にはさまないように隣近所に始末を頼んでおく。
 - ④ 御用の方は、隣りの〇〇さんへなどの表示はしないようにする。
- 戸締りを厳重に
- ① 出入口の戸、両戸、窓には、適当な錠を取りつけ、留守にする場合や夜寝るときは、確実にカギをかける。
 - ② 家庭や官公庁、会社などでは、責任者をきめておく。
- 家屋内外の整理整頓
- ① ①こわれたガラスは、紙などではらず、取りかえる。
 - ② 貴重品や現金は、簡単に発見されるようなところにおかないようにし、必要以外の現金は、必ず貯金する。

お知らせ

観光会館が

「登別パラダイス」の

愛称で新装開店

みなさんに広くご利用をいただいております。観光会館は、四月一日より、営業の一部を登別観光商事(株)へ委託運営することになり、会館内部施設の充実を図ると共に現在の社会経済状況からみて、四月一日より入館料金を、値上げすることになりました。

しかし、登別町民については、役場住民課または、最寄りの支所窓口にお申し込むと優待券が発行されますので、それを提示すると従前料金(大人百二十円、中人八十円、小人六十円)で、一日ゆっくり楽しんでいただけますので、気軽にご利用ください。

希望者に有料配布します

— 登別町史 —

昨年刊行された登別町史は、大変好評をいただきました。みなさんに有料で配布してきましたが、余部がまだありますので、ご希望の方は早めに役場庶務課に申込みください。

なお、一部千五百円です。

夜間電報配達員を募集

幌別郵便局では、夜八時から翌朝の八時までに着信した、電報を配達する請負人を、募集しております。

ご希望の方は、幌別郵便局にお問合せください。

